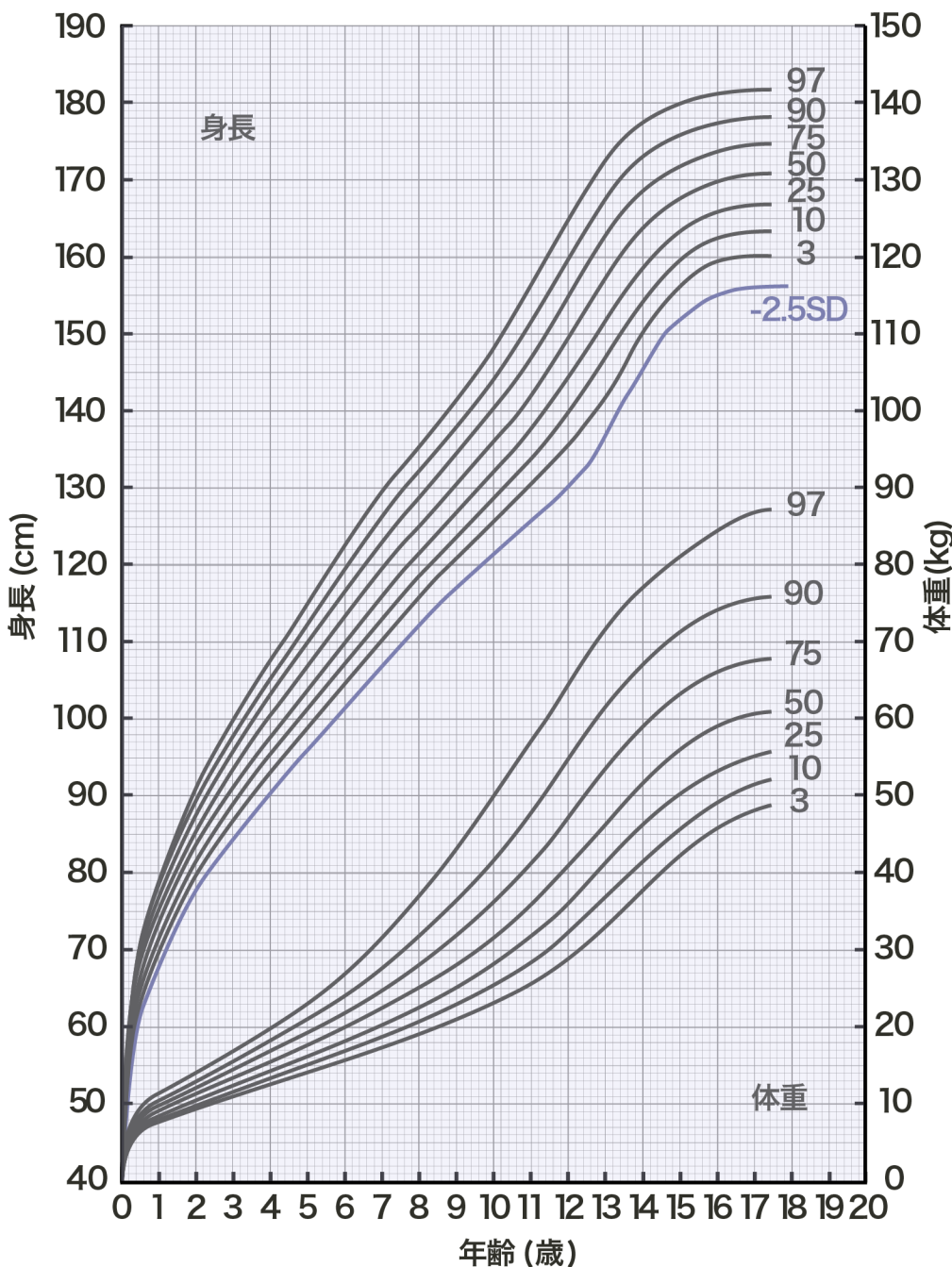


# 男子

(0-17.5歳)

# 身長・体重成長曲線

(パーセンタイル曲線)



出典：日本学校保健会 児童生徒等の健康診断マニュアル平成27年度改訂2015,p68より許諾を得て転載  
(上図の曲線は「2000年度乳幼児身体発育調査・学校保健統計調査」結果に基づく)

※パーセンタイル…全体を100として何番目に位置するかを示す数値です。

例えばパーセンタイルの数値が25の場合、100人中小さいほうから数えて25番目に相当することを示しています。

※SD(標準偏差)…データの平均値からどの程度ばらついているかを示します。曲線が「-2.5SD」(グラフ内紫の線を参照)未満の場合、疾患によっては成長ホルモン治療の対象になります<sup>2)</sup>。FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症では、医療費助成を受ける際の基準「重症度分類」の「重症」の項目で言及されています<sup>3)</sup>。

## グラフの見方

出生後半年を過ぎて成長が安定すると、同じチャンネル(※)内で推移して増加することが多いです。

基準線(各パーセンタイル値の曲線)を下向きに越えて別のチャンネルに移動している(成長が低下している)場合、注意が必要です<sup>1)</sup>。身長が3パーセンタイル未満の場合は低身長の疑いがあります<sup>1)</sup>。

※隣接する基準線と基準線のあいだのこと<sup>1)</sup>。

1) 令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)「乳幼児の身体発育及び健康度に関する調査実施手法及び評価に関する研究」(H30- 健やか - 指定 -001)(研究代表者 横山徹爾)及び「児童福祉施設における栄養管理のための研究」(19DA2001)(研究代表者 村山伸子)乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイド.2021年,p9-32

2) 日本小児内分泌学会 下垂体・成長障害委員会、「小児内分泌学会ガイドライン集」SGA 性低身長症におけるGH治療の手引き・中山書店、2018年,p36

3) 難病情報センター | 概要・診断基準等(厚生労働省作成) | ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)(閲覧日:2024年6月26日)  
<https://www.nanbyou.or.jp/entry/4559>